

主旨

かつて、函館市の中核を担っていた元町周辺地域ですが、時流の変遷と市勢の東進により衰退の道を余儀無くされました。現在、地方都市の宿命とも言える人口減と過疎化に悩みながらも、歴史的遺産と恵まれた天然資産を背景に、異国情緒溢れる美しい町並みは訪れる人々を魅了しています。元町周辺地域は北海道で唯一、重要伝統的建造物群保存地区に選定されている地域であり、観光都市函館に於いて、その新たな役割を担う街として生まれ変わりつつあります。

今回テーマの「石井家」はこの[重伝建地区]に隣接する函館市景観形成指定建築物で、昭和の佇まいを今に伝える純和風建築物です。歴史的な町並みは、それゆえの問題も内在します。老朽化と空家化は全国的にも共通の問題であり、歴史的建築物の保存の労苦は多大なものと言えます。そこで今回の石井家では、「民家」と「蔵」との双方に新たな用途を設定し、将来にわたる持続可能なシステムの構築を提案します。この試みが石井家の保存・再生と共に、新たなまちづくりの一助となることを期待します。

活用して保存する - Private guest house (貸切の宿) -

■全館貸切システム

石井家を1日1組限定で、1棟丸ごと貸切りの宿として活用します。既存のホテル、旅館等とは一線を画し、純和風の「石井家」の器と相まって、その宿泊コンセプトに独自性を打ち出すことが肝要と考えます。観光客に加えて、大家族やグループのイベント性を持った短期滞在型宿泊客と、外国人や日本人の中長期滞在型、拠点体験型の宿泊客等を想定します。



全館貸切りの宿泊システムは全国的にも例が見られます。例えば、伝統的町家を老朽化、空家化から守る京都の貸切の宿・京宿家(kyoyadoya)は新しいシステムの町家活用法として、全国的に注目を集めています。

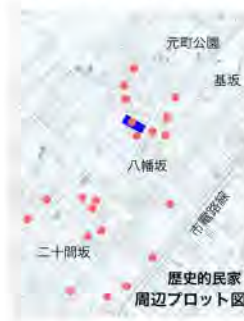
■昭和の追体験

石井家は昭和の香り漂う、往時の函館・昭和の隆盛の記憶を今に停める歴史的民家です。昭和アニメのリバイバルがTVで放映されるなど、昭和はいま、静かなブームです。旅の中だからこそ、日常を離れて、そんな昭和の文化に触れる一時は、外国人、邦人を問わず、思い出深いものになる事と思います。

地域と連携する - まちづくりの視点 -

■地域との絆

建物の活用・再生そして保存は経済的プラス効果に加えて、環境に対する配慮にも繋がります。しかしながら、老朽化は深刻な問題で、住み手の居なくなった、無名とは言え格式のある民家を取り壊されてゆくのも現実です。伝統的街並の保存は地域全体の問題です。地域住民が主役となり、互いに情報交換し絆を深めながら、まちづくりの在り方を共に考える事が、今求められています。



■情報交流の場の提供

宿泊の無い日に1日貸し・時間貸しを行います。その中では、地域交流の場の提供も視野に置いて、ワークショップやコミュニティースクール等を開催します。

■NPO法人の設立

将来の展望として、NPO法人の設立が考えられます。歴史的建築物の保存はNPOが今、最も期待できる分野です。地域の同様な問題を抱える人々とネットワークを形成する事により、事業の一層の促進を計ります。

再生して保存する - 蔵の再生 -

■蔵のある街並み

元町界限には蔵を持つ建物がよく見受けられます。度重なる大火に耐え、往時の隆盛を今に伝える蔵の佇まいは、元町の町並みを形づくる要素の一つとなっています。現在、周辺地域では、蕎麦屋、喫茶店、薬局等、新たな用途の蔵の姿が様々見受けられます。今回の計画に於いても、蔵に新しい命を吹き込み、元町の風景の一部をなす、蔵の再生を計ります。



蕎麦屋の蔵

■ロシア軽食専門店への転用

函館元町は古くからロシアとの関係が深い町と言えます。しかしながら、ロシア料理店は以外と見受けられません。そこで今回、ロシア料理の軽食専門店を考えてみました。



旧ロシア領事館 (現道南青年の家)

実状を見ると、飲食店経営は難しい所です。他と差別化を計れるもの、そして、ランチやおやつ等に重点を置いた、手軽な軽食が適すと判断しました。尚、店舗は貸切の宿の管理機能を兼ねます。

敷地空間構成

石井家は敷地の奥に位置します。全容を明かさず、想像力を掻き立てると言う長所と存在がわかりにくいと言う短所が同居します。そこで、細長い敷地を3つの空間に区分して、まず、導入空間で道行く人を呼び込みます。そして、「蔵の再生」をテーマとした再生空間へと誘います。その上で、奥に位置する昭和の佇まいの「石井家」の認識を高める効果を計る空間構成としました。



前面道路 (元町公園より)



「宿」説明図

□対象客層:

10~20名程の団体客がメインターゲットです。家族の祝賀会(還暦の祝等)、仲間内のサークル、企業の利用等幅広く設定します。また、国外、国内からの地域の風土、歴史文化散策型の中長期滞在型観光客も視野に入れます。

□経営戦略:

まるごと1棟貸切感を満喫してもらう事を最優先します。食事の提供は致しませんが、パトラー(執事)サービスにより、きめ細かいサービスを心掛けます。函館は海の幸に恵まれ、また、温泉の豊富などです。要望により、食事、温泉の紹介、予約、送迎を行います。

□防火対策:

延焼の恐れのある外壁、軒裏を防火構造に改修します。

□断熱対策:

改修する外壁部、及び1階床下にグラスウールを充填します。



昭和library



■宿泊室・6室 (8帖2室+10帖4室)

布団は各自で上げ下げするシステムです。部屋から縁に出ると、日本庭園を見渡すことができます。

■水廻り:

浴室 浴槽は据置き型と検風呂を用意します。脱衣室には洗濯機を設置します。
台所 台所には流し台と冷蔵庫があり、滞在型宿泊時には自炊が可能です。また、簡単な夜食なども作れます。
便所 男女分けましたが、男子のみの場合など、一括使用も可能です。尚、既存の柱は残し、再利用するレイアウトを心掛けています。

■団楽室 (12帖+6帖)

団楽室は居間、サロンの様なスペースです。

皆で集まって、語らったり、隣接の昭和ライブラリーの書籍等を読んだりできます。

■昭和library (4帖半)

昭和のコレクションや書籍、雑誌等を陳列します。昭和にタイムスリップして、懐かしいひとときを過ごす部屋です。



配置図 1:400

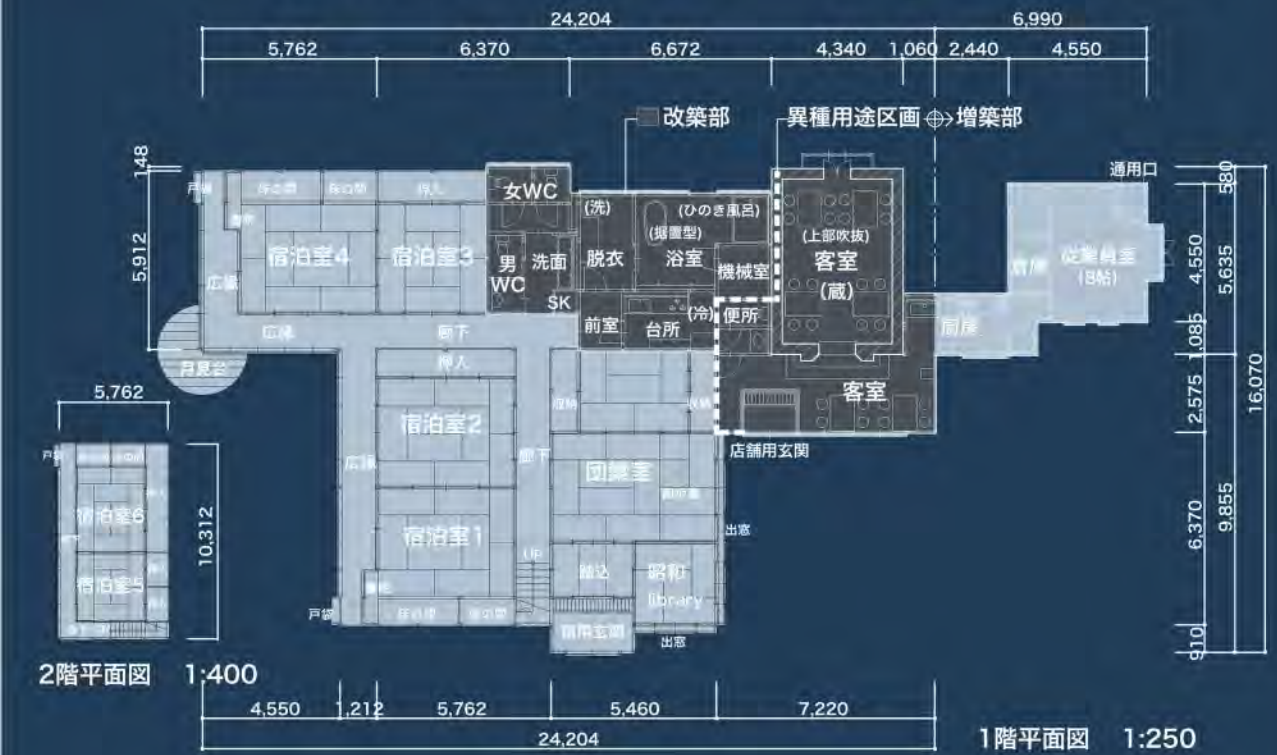
□日本庭園

戸外で仲間とくつろいだり、晴れた夜は、月見台で月を眺めたりできます。また、孫に昔のメンコ等を教えて、遊んだりできます。

2カ所の灯籠まわりを特に、刈り込み、整備する方針です。

□建築概要	外部仕上	屋根:和瓦葺き、銅板葺き 外壁:彫子下見板張り、漆喰塗り 断熱:グラスウール24K	構造	木造2階建て	□面積表	建築面積	2 9 4.84㎡	□工事費	概算総工費	34,600,000円
	内部仕上 (宿泊室)	天井:自然木板葺天井 壁:和風クロス、じゅらく壁 床:畳敷き	設備	暖房:灯油暖房機、火鉢、炬燵 給湯:灯油給湯機		1階面積	2 9 4.84㎡ (増築26.57㎡含む)		改修工事	21,400,000円
			防災	誘導灯、非常灯、自動火災報知機		2階面積	5 9.42㎡		増築工事	4,100,000円
						延床面積	3 5 4.26㎡		外構工事	9,100,000円
						宿泊部	2 7 9.12㎡			
						店舗部	7 5.14㎡			
						計	3 5 4.26㎡			

「ハコダテ☆ものづくりフォーラム」設計競技2012 Private guest house (貸切の宿) 1



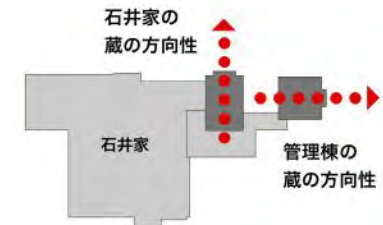
2階平面図 1:400

1階平面図 1:250



ハーブガーデンよりの眺望

「蔵」の方向性



石井家の「蔵」は道路に対して横を向いた方向性と言えます。新たに建てる管理棟では、いわば疑似的「蔵」を再現しました。これは用途上、経費上の観点から簡易的な木造の「蔵」に設定しましたが、これを道路に対して正面に向け、双方の蔵の方向性の対比を計りました。

ハーブガーデン

ハーブガーデンは色彩豊かで、見た目が美しく、訪れる人々の心に魅惑的なときめきと安らぎを与えてくれます。また、ハーブにはひとつ々に言い伝えや歴史があり、異国的な魅力を秘めています。



自家栽培の新鮮なハーブは、ハーブティーや料理に使用するほか、アロマセラピーとして浴槽に使用することもできます。



ポケットパーク

「ハコダテ☆ものづくりフォーラム」設計競技2012 Private guest house (貸切の宿) 2

ロシア料理専門店



スープの種類が豊富なところがロシア料理の特徴のひとつです。

定番のボルシチ、ピロシキに加え、きのこ料理や黒パンなどのロシア料理を提供します。

ロシア料理店では、喫茶店感覚の軽食を中心に提供しますが、メニュー構成に独自性を持たせ他店との差別化を計ります。



ハーブティー

ハーブティーやハーブコーヒー(色や風味がコーヒーに似ている)を提供して、メニュー構成に独自性を持たせます。

ロシア料理に欠かせない食材として、サワークリーム、カッテージチーズ、ビーツ(白い砂糖大根の仲間)、そして、ハーブがあげられます。

ロシア料理に使用するハーブは万能ねぎ、イタリアンパセリ、ディル、香菜の4種類で間に合います。

ハーブはハーブガーデンで自家栽培したものを使用します。



きのこのサワークリームあえ



トマトときゅうりのサラダ



冷たいボルシチ



ライ麦パン

全館貸切
Private guest house

昭和家屋石井家
Isii showa-house

函館元町
Hakodate motomati



函館山を望むアプローチ



函館市景観形成指定建築物 石井家 正面図



元町石井家



石井家



八幡坂よりの眺望

施設概要 1日1組限定 全館貸切の宿

本館は1日1組限定の「完全貸切旅館」です。ここでは周囲に気兼ねすることなく、御家族や御仲間だけで、誰にも邪魔されない時間を味わえます。既存のホテルや旅館とは一味違う、贅沢なひとときをお過ごしくださいませ。



本館「石井家」は昭和2年竣工の伝統的の家屋で、当時は水産業を営む一般民家でした。現在は街の景観の一翼を担う、函館市景観形成指定建築物に選定されております。いまでは懐かしい、古き、よき和のおもむきを充分にご堪能くださいませ。

床の間、書院付きの宿泊室です。緑側からは日本庭園が望めます。

宿泊室



団樂室

皆様での話らいの部屋です。隣接の昭和ライブラリーでは懐かしの一時をお過ごしください。

ご案内

定休日 年中無休
宿泊料 10名様まで1日50,000円、22名様まで1日80,000円
オプションとして、パトラー(執事)サービスや朝食サービス等を承りますので、ご相談ください。
チェックイン 15:00・チェックアウト: 11:00

函館元町・石井家 貸切の宿

所在地 函館市元町14番16号
建築年 昭和2年(1927年)
電話 (0138)00-0000
Email motomati@xxxxxxxx

1日貸切及び時間貸しのお知らせ

宿泊予約の無い日に1日貸切及び時間貸しを致しますので、お仲間やグループ等で、会合、会議など、お気軽にお使い下さい。
開館時間 9:00~17:00
定休日 年中無休(但し、宿泊予約の無い日)